

安城市 市民協働に関するアンケート

～第3次安城市市民協働推進計画策定に関する調査（町内会対象）～

《ご協力をお願い》

日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。安城市では、市民協働によるまちづくり※を推進するため、平成30年に策定した「第2次安城市市民協働推進計画」を改訂し、「第3次安城市市民協働推進計画」を令和5年度中に策定する予定です。

今回の調査は、市民協働によるまちづくりを推進する施策を検討するための基礎データを得ることを目的に実施します。それ以外の目的に使うことはありません。回答はすべて統計的に処理しますので、回答された方や地域にご迷惑をおかけするようなことはありません。

お忙しいところを誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※「市民協働によるまちづくり」とは、市民、地域団体、市民活動団体、事業者、市が、お互いに助け合い、協力し合って、誰もが幸せに暮らし続けられるまちづくりを行うことです。

令和4年8月

安城市長 神谷 学

回答期限: 令和4年■月■日(■)

〈回答方法〉

●回答期限までに、①又は②のどちらかの方法でご回答ください。

①Webページから入力

右のQRコードからWebページにアクセスし、ご回答ください。

(Webシステムの管理は、一般社団法人地域問題研究所に委託しています。)

②調査票に記入

調査票に回答を直接記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函ください。

〈回答にあたって〉

●回答は、町内会長がご記入下さい。何らかのご事情により、町内会長が記入できない場合には、副会長・職務代理の方などが代筆してください。

QRコード

<問合せ先>

安城市役所 市民生活部 市民協働課(担当:浅井、杉浦)

TEL:0566-71-2218 FAX:0566-72-3741

Eメール:kyodo@city.anjo.lg.jp

協働ってどうして必要なの？

◆「市民協働」とは？

各地域に存在する「地域の課題」を解決するために、市民、町内会などの地域団体、市民活動団体、事業者、市が、それぞれの特性を生かして補完し合い、協力しながら、課題の解決に向けて活動することです。

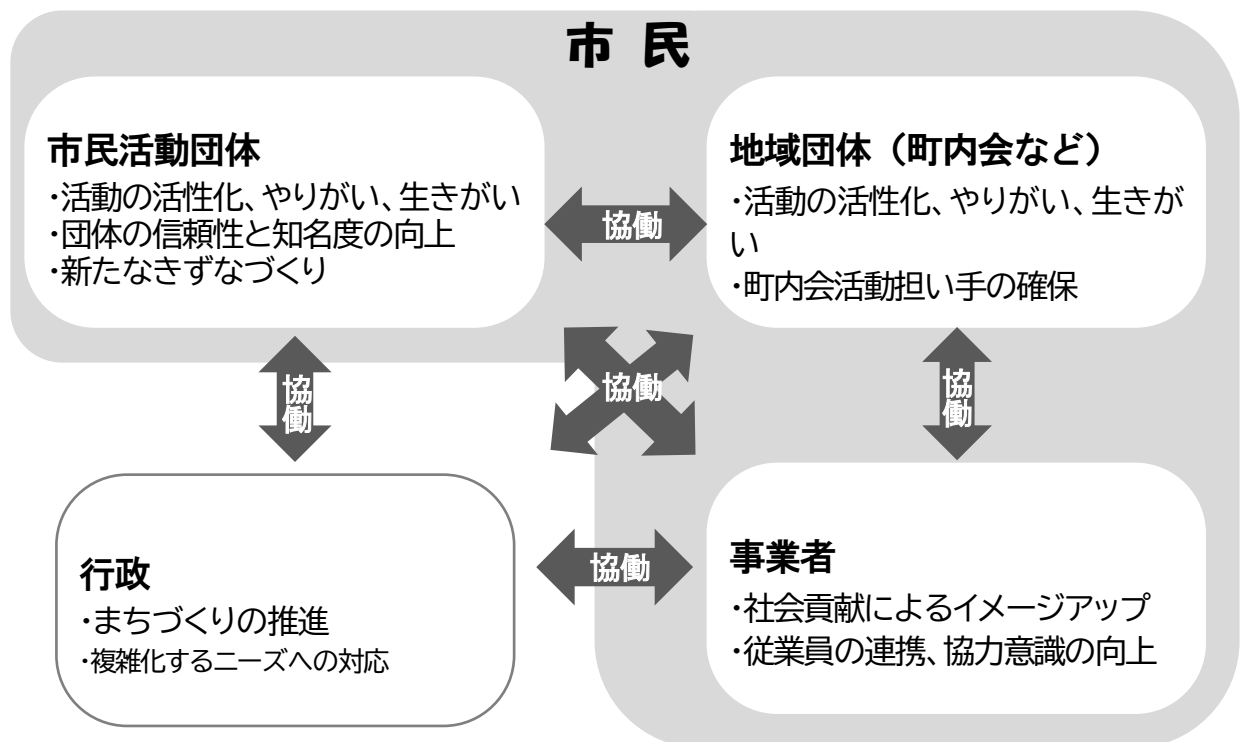
◆「協働」するメリットは？

協働においては、それぞれの主体が、自分の得意分野を持ち寄り、また、他者の不得意な分野を補いながら活動するため、単独では得ることのできなかった、大きな成果を得られることがあります。そのことが町内会、市民活動団体の活性化につながり、結果として課題の解決につながる可能性があります。市民にとっては、団体の活動が活性化し、地域の課題が解決することで、暮らしやすい地域がつくられることがメリットとなります。

【協働のイメージ図】

だれもが幸せに暮らし続けられるまち

協働の成果 ・ 地域課題の解決
・ 地域の活性化 など



安城市 市民協働に関するアンケート（町内会対象） 調査票

I. 町内会の組織についておたずねします。

※今回調査における「町内会(活動)」とは、町内会や自主防災組織、福祉委員会等の活動として、ご回答下さい。

町内会名をご記入ください

町内会・自治会

問1 現在の町内会長の在職年数は何年ですか。（○印は1つだけ）

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年以上 10 年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 5. 10 年以上 |
| 3. 3年以上5年未満 | |

問2 町内会の役員の選出はどのように行っていますか。

（あてはまるものすべてに○印）

- | |
|------------------------|
| 1. 立候補または、他人からの推薦 ⇒問3へ |
| 2. 順番に役職が回ってくる(輪番制) |
| 3. その他(具体的に:) |

（問2で「1」と回答した方にうかがいます）

問3 候補者が複数いた場合の決定方法は次のどれですか。（○印は1つだけ）

- | |
|----------------|
| 1. 投票 |
| 2. くじ引き |
| 3. その他（具体的に: ） |

問4 町内会への加入率はどうのような状況ですか。（○印は1つだけ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. かなり増加傾向にある | 4. 微減傾向にある |
| 2. 微増傾向にある | 5. かなり減少傾向である |
| 3. ほぼ横ばいである | |

問5 町内会に加入しない世帯では、どのようなことが未加入の理由として多いですか。

（あてはまるもの2つまで○印）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 近所付き合いがわずらわしい | 6. 高齢により活動に参加できない |
| 2. 加入しなくても困らない | 7. アパート住まいで短期の居住になる |
| 3. 町内会活動に関心がない | 8. わからない |
| 4. 役員になりたくない | 9. その他 |
| 5. 会費を払いたくない | （具体的に: ） |

問6 町内会への加入を促進するために行っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 未加入世帯者や転入者に口頭で加入を呼びかけている
2. 未加入世帯や転入者にチラシを作成し配布している
3. ポスターやチラシを掲示板等に掲示している
4. 事情に応じて役員や会費等の負担を軽減している
5. その他(具体的に: _____)
6. 行っていることは特にない

問7 町内会において、現在どのような活動に取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 防火・防災 | 10. 障害者の支援 |
| 2. 防犯・交通安全 | 11. 高齢者介護の支援(見守り・サロン活動等) |
| 3. 清掃・衛生 | 12. 多文化共生 |
| 4. 地域施設の維持・管理 | 13. 歴史・文化の継承 |
| 5. 祭り・盆踊り | 14. 生涯学習 |
| 6. 運動会・スポーツ大会 | 15. 健康づくり |
| 7. 自然環境の保護 | 16. 男女共同参画の推進 |
| 8. まちの美化(花壇づくりなど) | 17. 子どもの貧困に関すること |
| 9. ごみの減量・リサイクル | 20. 若者のひきこもりの問題 |
| 10. 子育ての支援 | 21. わからない |
| 11. 青少年育成 | 22. その他(具体的に _____) |

※多文化共生とは、地域に暮らす外国の人たちと、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、共に生きていくこと。

問8 問7で回答した活動分野の中で、最も自慢できる、または力をいれている特徴的な活動は何ですか。主なもの3つについて、「活動分野の番号」と「具体的な活動の名称」、「その活動の概要」を下欄ご記入ください。

問7の活動分野 の番号を記入	具体的な活動の名称	特に力をいれている特徴的な活動の概要(簡単に)

問9 町内会においてどのような内容の情報を発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

情報発信の内容	1. 町内会行事の予定	4. 町内会の役員名
	2. 町内会行事の結果	5. その他(具体的に:)
	3. 総会の議事録	6. 情報発信していない

問10 町内会の情報はどのような媒体で住民の皆さんに発信していますか。

(あてはまるものすべてに○印)

1. 紙媒体で発信している (回覧板・ポスター等) 2. インターネットで発信している ⇒ 問11へ 3. 発信していない
--

(問10で「2」と回答した方にうかがいます)

問11 それは次のどれですか。

(あてはまるものすべてに○印)

1. ホームページ 2. ブログ 3. フェイスブック等のSNS 4. その他(具体的に:)
--

★問12 町内会活動では、以下のようなICT(情報通信技術)を導入・利用していますか。

(あてはまるものすべてに○印)

1. 会議や行事の案内通知におけるメールの利用 2. 資料作成におけるワードやエクセル等の利用 3. 町内会ホームページの作成 4. 町内会会員同士の連絡におけるメールの利用 5. 町内会会員同士の連絡におけるSNS(LINEやFacebookなど)の利用 6. Zoom等を活用したリモート会議の導入 7. 町内会でのパソコンの保有・利用 8. 町内会の施設(町内公民館)におけるWi-Fiの設置 9. その他(具体的に:) 10. 上記のようなICTの導入・利用はしていない

★問13 町内会活動におけるICT（情報通信技術）の活用に関する支援策として必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

1. Zoom等を活用したリモート会議の実施方法に関する講座の開催
2. SNS(LINEやFacebook など)の使い方の講座の開催
3. ワードやエクセル等の操作に関する講座の開催
4. ICTに関する基礎知識を学ぶ講座の開催
5. 行政手続きの電子申請等に関する講座の開催
6. ICTを有効活用して町内会活動をしている町内会の紹介
7. パソコンやプリンターなどICT機器の導入支援
8. Wi-Fi 関連機器の設置に対する支援
9. その他(具体的に:)
10. 特にない

問14 町内会活動を行ううえで課題となっていることはありますか。（あてはまるものすべてに○印）

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 役員のなり手が不足している | 12. 活動・行事がマンネリ化している |
| 2. 役員が高齢化している | 13. 町内会規模が小さく会員が少ないため活動が難しい |
| 3. 役員の負担が多い | 14. プライバシー保護の観点から実態がつかみきれず相互扶助活動に支障が出ている |
| 4. 未加入世帯が増加している | 15. 他の地域や組織との連携が弱い |
| 5. 会員(地域全体)が高齢化している | 16. 市からの依頼事項が多い |
| 6. 地域住民の活動に対する関心が年々低下している | 17. 役員の引き継ぎが上手くいっていない |
| 7. 特定の会員しか運営、行事に関わらない | 18. 事業を行うためのノウハウがなく、何をどのようにしたらいいのかわからない |
| 8. 新旧住民や世代間の交流が難しい | 19. その他(具体的に:) |
| 9. 活動費が不足している | 20. 特に課題はない |
| 10. 相談する場所、窓口がない | |
| 11. イベント等の企画の仕方がわからない | |

問15 上記課題に対して、何か取り組まれていることがあれば、ご記入ください。

Ⅱ. 新型コロナウイルス感染症による影響についておたずねします。

★問16 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、町内会で取り組む活動の中でとくに影響を受けた活動分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 防火・防災 | 12. 障害者の支援 |
| 2. 防犯・交通安全 | 13. 高齢者介護の支援(見守り・サロン活動等) |
| 3. 清掃・衛生 | 14. 多文化共生 |
| 4. 地域施設の維持・管理 | 15. 歴史・文化の継承 |
| 5. 祭り・盆踊り | 16. 生涯学習 |
| 6. 運動会・スポーツ大会 | 17. 健康づくり |
| 7. 自然環境の保護 | 18. 男女共同参画の推進 |
| 8. まちの美化(花壇づくりなど) | 19. 子どもの貧困に関すること |
| 9. ごみの減量・リサイクル | 20. 若者のひきこもりの問題 |
| 10. 子育ての支援 | 21. わからない |
| 11. 青少年育成 | 22. その他(具体的に) |

★問17 問16で回答いただいた新型コロナウイルス感染症によって活動に影響を受けたことで、現在(あるいは今後また新型コロナウイルス感染症が拡大した時に)、懸念されることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 地域のコミュニティ・連帯感の衰退 |
| 2. 情報共有・コミュニケーションの希薄化 |
| 3. 要支援者や生活困難者へのアプローチができないこと |
| 4. 地域の安心・安全が守られないこと |
| 5. 町内会加入世帯数の減少 |
| 6. その他(具体的に:) |
| 7. 懸念されることは特にない |

★ 問 1 8 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、町内会運営にあたってみえてきた問題・課題として現在感じられていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

1. イベントや活動の実施
2. イベントや会議の開催・再開可否の判断基準
3. ソーシャルディスタンスの取れる活動場所の確保(町内会事務所が無いなど)
4. Zoom 等を活用したリモート会議ができるようなネット環境づくり
5. 役員間の情報共有・伝達のしづらさ(メールや SNS などの ICT が使えないなど)
6. 各種活動にあたっての感染拡大防止対策の方法・ノウハウ
7. 町内会住民への情報提供の方法
8. 役員の負担増
9. 役員の交代に際しての活動等の引継ぎ
10. 規約改正の必要性
11. 訪問活動や会員の勧誘のやり方
12. 他の町内会との情報交換する機会の確保
13. 活動の未実施によって生じた町内会費残額の使途
14. その他（具体的に： _____)
15. 課題は特にない

★ 問 1 9 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、これからの町内会運営において考えておられることや必要になると思われることは何ですか。

Ⅲ. 協働を推進するために必要なことについておたずねします。

問20 現在、町内会活動を、ボランティア団体・市民活動団体、他の町内会、事業者など、あなたの町内会以外の団体と協働して実施していますか。(○印は1つだけ)

1. 協働している	2. 協働していない
-----------	------------

⇒「1.協働している」と回答した方は、特徴的と思われる主な活動の内容、協働相手の団体名を3つまでご回答ください。

活動の内容（具体的に）	協働相手
1.	
2.	
3.	

問21 今後、町内会活動を進めていくうえで、他の団体と協働したいと思いますか。

(○印は1つだけ)

1. 協働したい	⇒ 問22、23へ
2. 協働したくない(問16へ)	⇒ 問24へ
3. メリット、デメリットがあり、どちらとも言えない	
4. 協働がわからない	

(問21で「1.協働したい」と回答した方にうかがいます)

問22 どのような団体と協働したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. ボランティア団体・市民活動団体	5. 商工会議所
2. 他の町内会	6. 民間企業
3. 社会福祉協議会(地区社協含む)	7. 今のところ連携したい団体を特定できない
4. 教育機関	8. その他(具体的に:)

上記の団体と協働して取り組みたい活動内容を簡単にご記入ください。

(問21で「1.協働したい」と回答した方にうかがいます)

問23 他の団体と協働する場合、どのような効果が期待できると考えますか。

(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 他の団体の専門性、ノウハウ(やり方)を活かせる | 5. 活動の活性化につながる |
| 2. 町内会の活動の担い手が増える | 6. 町内会組織の体制の改善が期待できる |
| 3. 若い世代との交流の機会が生まれる | 7. その他
(具体的に:) |
| 4. 新たな事業展開が可能となる | |

(問21で「2. 協働したくない」と回答した方にうかがいます)

問24 どのような理由で協働したくないと考えますか。

(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 活動が偏る恐れがある | 5. 協働相手となる団体が市内には存在しない |
| 2. 他の活動が圧迫される恐れがある | 6. 自分たちで活動が完結し、必要がない |
| 3. 継続して活動することが期待できない | 7. その他
(具体的に:) |
| 4. どんな団体が市内にあるのか情報がない | |

(すべての方にうかがいます)

問22 その他市民協働を推進するためのアイデアやご意見など、何でも自由にお書き下さい。

アンケートは以上で終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。

